



平成 25年度第1回(通算 147回)技術情報交換会のご案内

今回は恒例にてSAMPE Japan平成24年度総会に引き続いての開催です。25年度も、技術情報交換会をより有意義で、多くの皆さまの参加頂けるよう企画する予定です。本年度は見学会を含めて計5回の開催を計画しております。来年3月に予定している SEICO2014会議参加/JEC見学の企画の継続(15名限定)と、本年5月の名古屋例会の盛会を受けて、25年度は関西での初めての例会開催を企画し、関西以西の皆様の参加を促進できるよう計画する予定です。

平成25年度第1回のプログラムは、本年度「協会特別賞」の受賞記念として、複合材料研究開発の牽引者の一人と誰もが認知している金沢工大副学長、いしかわ炭素繊維クラスタープロジェクトディレクターの金原先生に45年間にわたって関与した東大・金工大での研究開発と、SAMPE Japan成り立ちからの25年を振り返って頂きます。また、「製品・技術賞」を受賞された秋山氏に三菱レイヨンのPCMとCFRP量産技術開発戦略の今後について、そして海外メーカー2社の最新の技術・製品情報紹介と、皆様にとって興味深い最新情報をご紹介しますのでご期待ください。

記

1. 日 時:平成25年8月6日(火) 14:00~19:00
2. 会 場:東京大学 山上会館
会場までのアクセスについては次ページの案内地図をご参照下さい。
3. 参加費:正会員・賛助会員:8,000 円、学生会員:4,000 円、非会員:11,000 円
参加費は参加申込時に『三菱東京 UFJ 銀行 鎌倉支店(普)1276101
先端材料技術協会』に振込料自己負担でお振込戴くか当日会場受付でお受け致します。
4. 参加申込:別添の申込用ファックス用紙に所要事項をご記入の先端材料技術協会事務局にお送り下さい。あるいは、同内容をメールにてお送りいただくことも可能です。
定員は 80 名ですのでご確認は下記宛にご連絡下さい。

Tel: 03-5907-3750、Fax : 03-5907-6364、E-mail : g001sentan-mng@ml.galileo.co.jp

【プログラム】

- 14:00~14:05 会長挨拶 名古屋大学工学研究科航空宇宙工学専攻
複合材工学研究センター センター長 石川 隆司
- 14:05~14:55 協会特別賞受賞講演 「複合材料構造研究の45年と先端材料技術協会の25年」
金沢工業大学 副学長(研究支援担当)・教授 ものづくり研究所 顧問
いしかわ炭素繊維クラスター プロジェクトディレクター 金原 勲 様
複合材料構造の研究に着手した 1966 年から東大・金沢工大における45年にわたる研究の変遷とこれまで関与した多くの研究開発プロジェクト、創成期から関わってきた先端材料技術協会の25年を振り返る。
- 14:55~15:10 休憩



Society for the Advancement of Material and Process Engineering

〒170-0004 東京都豊島区北大塚 3-21-10 アーバン大塚 3F (株) ガリレオ内 先端材料技術協会
Tel:03-5907-3750 Fax:03-5907-6364 E-mail:g001sentan-mng@ml.galileo.co.jp URL:www.sampejapan.gr.jp

15:10~16:00 製品・技術賞受賞講演

「PCM(Prepreg Compression Molding)と今後の CFRP 量産技術開発戦略」
三菱レイヨン 豊橋技術研究所 複合材料開発センター 主席研究員 秋山 浩一 様
自動車をはじめ産業用途における量産部材への炭素繊維複合材料(CFRP)の適用は
今後大きな成長が期待される分野の一つである。速硬化プリプレグのプレス成形による新
しいCFRP 量産プロセス、PCM(Prepreg Compression Molding)はCFRP 量産部材に最
適なプロセスのひとつで、種々の製品への適用が検討されている。

16:00~16:30 「3A Composites社の構造用芯材の最新製品・使用例の紹介」

3A Composites シニアアドバイザー 松田 紀元 様
環境に優しく、安全性(耐火、小煙、低毒性)を追求した構造用芯材を海外使用例とも
に紹介する。①PET樹脂発泡体:鉄道車両、バス・仮設住宅 ②バルサ材コア:橋梁・高
速道路の補修・増強、老朽化建物の改修・構造強化

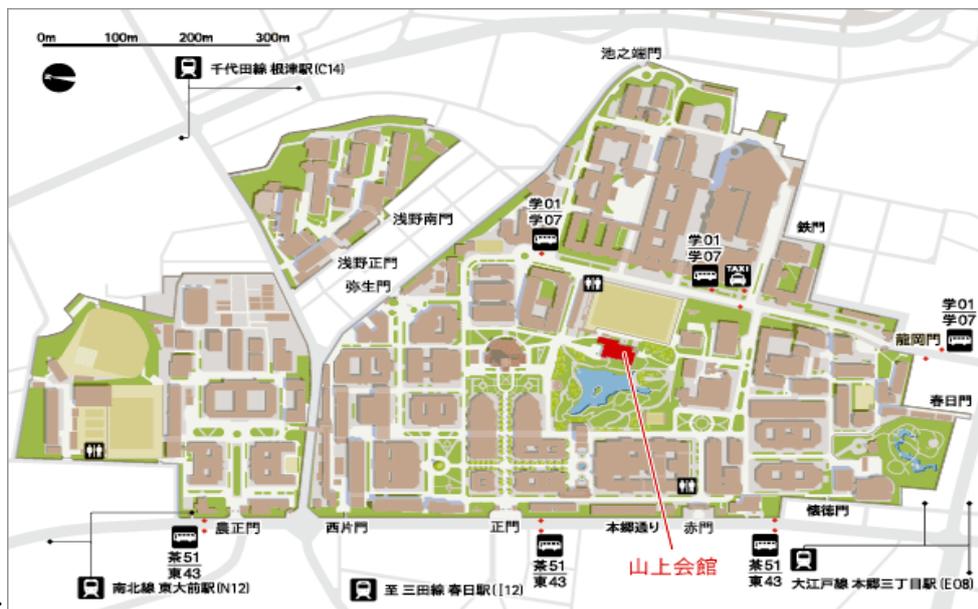
16:30~17:00 「Epsilon 社の最新技術・製品・用途情報の紹介」(英語資料/日本語説明プレゼン)

“State-of-the-art technology and product information of Epsilon, Carboglulam®”

Epsilon Japan President Mr. Vincent PERCHENET

After developing Pultrusion and Pullwinding for carbon fiber, Epsilon kept
researching new technologies applied to CFRP. Combining Pultrusion
technology with assembling know-how, Carboglulam® is a high-end process
allowing to reach higher compressive performances. Its efficiency regarding
industrial processing makes it especially attractive to the windblade market.
Exceptional laminate properties and a unique reproducibility makes it the
favorite technology for large scale sparcaps.

17:20~19:00 懇親会 山上会館地下1階レストラン「御殿」にて
講師、参加者相互の情報交換の場としてご活用下さい。



会場へのアクセス: